

第2学年星組 2星花火大作せん！

～やってみてよりよく！2星とくぎはっぴょう会をしよう！～ 指導者 河野 幹大

単元目標

- 学級で生活上の諸問題を解決する活動を通して、友達と協働して取り組むことの意義や話し合いの進め方に沿った意見の発表の仕方や聞き方を理解し、活動の方法を身に付けている。
- 2年星組の学級生活をより楽しくするための課題を発見し、解決方法について話し合いの進め方に沿って合意形成を図り、仲良く助け合って実践している。
- 2年星組の学級生活をより楽しくするために、見通しを持ったり振り返ったりしながら、自分の考えを持ち、役割を意識して集団生活に取り組もうとしている。

全4時間+朝の時間 (ビルド・スパイラルタイプ×スパイラル型)

Choice (第1・2時)

子どもが提案理由を基に、「自分にもよく、みんなにもいい」意見を決めたり役割を選んだりすることができるように、適宜必要に応じて助言する。

Challenge (朝の時間①+第1時)

子どもが思いを大切に、「みんなの特技をシェアする発表会」を意識しながら話し合うことを考えられるように、子どもが考える発表会を実感できる場を設定する。

子どもの姿と支え方

第3・4時：
2星特技発表会をしよう。

朝の時間②：発表会の準備をしよう。

第2時：本学級会
「振り返りをもとに、どう工夫するか決めよう。」

話し合い(15分) 実践(20分) 振り返り(10分)

追究

第1時(本時)：モジュール式学活(1)
「特技をシェアする発表会にするために、どんなふうに発表するか。」

出会い

朝の時間①：特技発表会をするために、何を決める必要があるかな？

今の子どもの姿

これまでの学級活動(1)では、子どもたちは学級会で話し合って決めたことが実際の活動でどうだったかを振り返り、よりよい活動を生み出そうと改善を図りながら実践を行ってきた。1学期には、学級全体で仲良くなるために4週連続で集会を行い、その都度振り返りで明らかになった課題を次の活動に生かして改善を図ってきた。合意した工夫について主体的に実践しようとする子どもの姿が見られる一方で、活動に夢中になるあまり、目的を忘れてしまうこともあった。実践を重ねることにより、目的を意識して活動する姿が見られるようになってきており、振り返りで生じた課題を次に生かすようとする意識が生まれてきている。

「学びに向かう力」が涵養されている姿

一連の活動を通して、自分のよさや可能性に気付くとともに、2年星組として成長していくために、よりよい活動を生み出そうとしている姿。

Check (第1・4時)

一連の活動での経験を次時や次の活動に生かすことができるように、「よりよくする」視点で、活動の成果や課題を具体的に振り返る。

Collaboration (第1～4時)

多様な意見を受け止めながら話し合い、友達と協力しながら活動を創り実践することができるように、似た意見はつなげたり同じような役割は一緒に行ったりするよう助言する。

Critical Thinking (第1・2時)

子どもが提案理由や心配意見を大切にしながら合意形成を図ることができるように、認識のずれや見落としがないか問い掛ける。

Creativity (第1時、朝の時間②)

- 1 過去の経験や試行して考えたことを基に、よりよい活動に変革していくことができるように、試行実践の最中も合意形成したことを適宜指摘しながら、効果性を見つめる問い掛けを行う。
- 2 見通しを持って準備を進めることができるように、過去の実践を想起できるよう助言する。

単元構想の意義

本議題は、イベント係から提案されたものである。特技というのは個人的なものであり、集会活動で特技を発表するだけでは、友だち同士で協力する場面も乏しく、「学級みんなで創った」と実感することは難しい。ただ、子どもたちは、日常生活では知ることができない友達のよさや頑張りを知ること、学級として成長できると考えていた。学級としての仲が深まりつつある中で、互いの個性を見つめ、友達のいいところを認め合い、個々の特技を共有する機会を設けることは、今後更なる個の成長及び学級生活の向上に寄与すると考え、本議題を選定した。

本単元では、二度の学級会を取り入れ、まずモジュール方式で学級会を行う。これは、15分程度の話合いでの合意形成を終えた後、試行実践を行い、合意形成したことが実践でどのように感じたかを振り返ることにより、次回の合意形成及び活動の質を高めることをねらっている。試行実践と改善のサイクルにより、活動の質の向上と子どもの実態に合った活動を生み出すことに主眼を置いている。

本時の授業 (1 / 4)

- 1 日時 令和6年11月20日(水) 9:35~10:20
- 2 場所 2年星組教室
- 3 目標 話し合いから試行実践、振り返りの一連の活動を通して、発表会をよりよいものにしていこうとしている。

本時における「学びに向かう力」が涵養されている姿

- 過去の実践や試行実践で学んだことを生かしなが、自分事として考え、活動をよりよく変革しようとしている姿。
- 自分の意見を主張したり多様な意見を受け止めたりしながら合意形成を図るとともに、協働して実践している姿。

学習活動	モジュール式学級活動(1) 「2星特技発表会をしよう」		
	1 2星ミニミーティングを行う。 「特技をシェアする発表会にするために、どんなふうに表示していくか。」	2 試行実践を行う。	3 振り返って、次に話し合うことを考える。
予想される子どもの意識の流れ	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 25%;"> <p>特技をシェアする発表会にするためには、どんなふうに表示したいかな？</p> <p>特技を見せるのと一緒に、苦手な子に教え合う時間を取るといいと思う。</p> <p>特技が同じ内容の人は、一緒に発表したらどうかな？</p> <p>発表する人にインタビューしたらいいと思うな。</p> </div> <div style="width: 25%;"> <p>うまくいくかどうかは分からないけれど、ためしにやってみよう！</p> <p>苦手な子は、やりたいって思っているのか。やりにくくないかな？</p> <p>それなら本番まで協力して練習することもできるね！</p> <p>インタビューするって何を聞くの？</p> </div> <div style="width: 25%;"> <p>話し合って決めたことをやってみよう！</p> <p>苦手な子だけじゃなくて、やりたい子でやったらどうかかな？</p> <p>得意なことを二人で見せることで、もっと楽しい発表になりそうだね。</p> <p>上手になるためのポイントとかを聞くといいと思うよ。</p> </div> <div style="width: 25%;"> <p>実践して感じたことを基に発表会をよりよくしていくために、しっかりと考えて発表会を創っていきたいな。</p> <p>一緒にやることはできても、教えることは難しそう。発表だけで時間がなくなるな。教えるだけの時間がほしいな。</p> <p>縄跳びは一緒にすると、みんなできていいね。技によって種目を変えるのもいいかもしれないな。</p> <p>インタビューするのはいいと思うけど、上手になるポイントは、全員の人には聞けない。何を聞か考えないと。</p> </div> </div>		
指導 (○) と 評価 (●)	<ul style="list-style-type: none"> ○ すぐに話し合いに進むことができるように、事前に意見を収集しておく。 ○ 子どもが提案理由や心配意見を大切にしながら合意形成を図ることができるように、認識のずれや見落としがないか必要に応じて問い掛ける。 ○ 多様な意見を大切に、「自分にもよく、みんなにもいい」工夫を生み出すことができるように、似た意見はつなげるよう適宜助言する。 ○ 子どもが話し合いに集中できるように、教師が話し合った内容を記録する。 		

場面	単元の評価規準
出会い	<ul style="list-style-type: none"> ● 「2星特技発表会」の試行実践から改善の活動を通して、発表会をよりよいものにしていこうとしている。 <p style="text-align: right;">【主体的に学習に取り組む態度】</p>
追究	<ul style="list-style-type: none"> ● フロア及び司会者チームの双方が、問題を解決するために、話し合いの進め方に沿って話し合っている。 <p style="text-align: right;">【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 解決方法について話し合いの進め方に沿って、「自分もよく、みんなもいい」視点を大切にして合意形成を図っている。 <p style="text-align: right;">【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学級全体で話し合って決めたことについて、みんなで仲良く協力して実践している。 <p style="text-align: right;">【思考・判断・表現】</p>
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ● 「2星特技発表会」の成果や課題点を見詰めるとともに、2年星組として成長していくために、これからも自分たちで問題を解決していこうとしている。 <p style="text-align: right;">【主体的に学習に取り組む態度】</p>

● 話し合いから試行実践、振り返りの一連の活動を通して、発表会をよりよいものにしていこうとしているか。

【様態・ワークシート】